

秋葉区青少年健全育成・人権啓発推進大会

《私の主張》 差別をなくすために



新潟市立小須戸中学校3年生 白井実佳 (小向)



積極的に地域にとけこんでますか？ (新保地区)

十一月八日(土) 新潟健康センターはつらつホールを会場に秋葉区青少年健全育成・人権啓発推進大会が開催されました。この大会は、未来に向けて明るい社会をつくっていく若者に育ってもらいたいということを目的に行われていました。今の中学生が様々な社会問題について、どのように対応しなければならぬと考えているのでしょうか。今回は小須戸中学校の白井実佳さんの発表を紹介いたします。

差別はどこから始まったのでしょうか。人は人なのに、なぜ障害者というひとつの言葉が生まれてしまったのでしょうか。人は望んで障害を受け入れたいわけではありません。しかし、今この「障害者」という言葉が、差別のひとつになっているのではないかと思います。この言葉の差別をなくすために、今の私には何ができるのでしょうか。

考えてみても、すぐに答えは見つかりませんでした。しかし、今私にできることがひとつだけありました。それは「手話」です。私は今、私の住む町の手話サークルに所属しています。そこでは、単語がひとつひとつ書いてあるたくさんの方のカードが置いてあります。それを三枚ほど引くのです。たとえば、「仕事」「テニス」「お母さん」という三つのカードを引いたとします。この三つの言葉を組み合わせる文章にします。「仕事がいがそがしくて、お母さんがテニスの応援に来てくれなかった」という文章を、自分なりに作ったりすることや、昔話を手話で話すことなど、いろいろなことをしています。

手話は、同じ手の動きをしていても、表す場所の意味が全然違います。たとえば、この手の動きだったら、「賢い」「明るい」「きれい」「熱が上がる」など、さまざまな手話が、同じ手の動きで表せます。そして、私が聾啞者と話す時に、気をつけていることは、表情です。何も表情をつけずに手話をすると、相手に気持ちが伝わりにくいからです。大変なことは、相手の手話を読みとることです。慣れている人の手話は、とても早いで読みとれない手話がたくさんあります。だから、もともと聾啞者の方々と、コミュニケーションをとり、少しでも多く話して、たくさん読みとれるようになりたいと思います。こうして手話を勉強するうちに、いろいろな人とのふれ合いの場・人と人がつながるようになって、お互いに理解し合える

場・もつといういろいろな勉強をしたいという欲求を満たしてくれる場、こういったコミュニケーションをとることができるといいですね。と私は思うようになりました。私は、手話サークルの活動を通じて、聾啞者に対しての偏見というものが、まったくなくなりました。むしろ、私たちの手話の先生がとても明るく、知的で見習うことが多いです。そこで私は「差別」をなくす手がかりをみつけました。まずはわたし、まずはあなたの行動が、鍵を握るといふことを。ひとりひとりの行動が「差別」をなくすことにつながるのです。わたしの始めの一手は手話サークルでした。手話というものを学びたいという気持ちがあり、今のわたしの願いつながりました。人と人とがふれ合える場があり、いろいろな人と話したり、笑ったりする。そして、お互いが、理解し合い、積極的にコミュニケーションをとる。そういつたひとつひとつの積み重ねから、心も豊かになっていくのだと思います。まずは、周りがある見えない「壁」を取り除くことから、差別をなくす、一歩をふみ出してみませんか？ 私たちの心の中にある「障害者」という言葉の差別を、この講演会をきっかけにしてほしいのです。

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館 〒956-0101 新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地 TEL (0250) 38-2234 FAX (0250) 38-3041 編集 公民館報編集委員会

映画

最近よく映画を見るようになってきました。レンタルショップに行くと何を見ようかと迷います。新作の映画を見ようか、旧作を見ようかジャンルに問わず。思いつきで借りるようになってきました。そのお店によっておすすめ映画が違ってきます。大人であれば棚の高い位置に、子供の頃は低い位置に位置に置かれます。

小須戸のひとこと

加藤秀隆さん



DVDになってから吹き替えの切り替えができるので、声優の話方や雰囲気が変わります。生の声を英語や様々な国の言葉で聞くことができることも楽しみです。俳優の話し方やその強さは、吹き替えとは全く違った見方をさせてくれます。みなさんも目の前の棚にある映画を手にとってみませんか？ また違った角度から映画を楽しむのではないのでしょうか。あくまでも個人的な見方です。



当番の学生に「そんげも練習するんだ〜」

声の広場

公民館報は皆さんの声です。それだけに皆さんの声で埋めたいと思っております。建設的なご意見、ご要望、または地域の面白い話題などなんでも結構です。どんどん投稿ください。締め切り 毎月二十日 字数 四百字詰め原稿用紙一枚以内 問合せ 小須戸地区公民館 0250-38-2234 ※なお、記事の選考は公民館報編集委員会で行います。(おたよりのあて先) 〒956-0101 新潟市秋葉区小須戸117 小須戸地区公民館報係

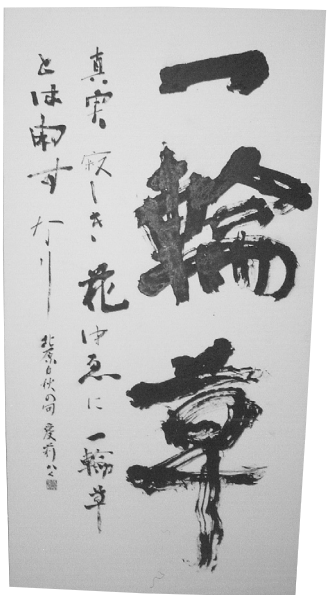
「蒼丘展」の結果決まる

人気投票の結果決まる

蒼丘展の開催しました。公民館の一室に高校生の作品が八十一人も展示され、とても見ごたえがありました。初日には美術部と生徒会の学生が会場当番にもあたり、来場者と和やかに会話をしているのを見られました。(右、写真参照)

人気投票の結果は次の通り(来場者が審査員) 最大賞 佐久間愛莉(書道) 特別賞 風間友紀子(写真) 大賞 坪谷知香子(書道) 特別賞 野崎佳那美(書道) 奨励賞 多賀萌衣実(絵画)

最大賞 「北原白秋の句」 佐久間愛莉さん(書道) まさかかるとかと思っていなかったで、とても驚いています。自分なりに頑張ったのですが、見直してみるとまだまだ改善できる点があると思いました。また、このような機会があったときにはもっと良いものを作りたいと思います。



「一輪草」 佐久間愛莉さん(書道)

故間野良知(良遊)氏を悼む

去る十月二十日、間野良知氏が百二才の天寿を全うせられてご逝去になりました。間野良知氏は新保正福寺住職三十五年、小中学校教諭校長四十年間在職、退職後は町の要請で町の監査委員、社会教育委員長、公民館長、初代文化協会会長、町史編集委員長等数々の要職を歴任され町の発展に尽力されました。平成二年二月住職を退隠され東堂と名を付けてからは俳句の道に専念され、句集「古都の悲話」「般若湯」を出版され、良遊氏の珠玉句集として永く読みつがれるものと思えます。月満ちて有縁無縁の佛たち飄々と生きて白寿の筆始 良遊

予告 平成21年度 公民館定期利用説明会 日時 十一月二十八日(金) 午後七時半から 会場 小須戸地区公民館 (二階・会議室)

新年度の公民館「利用方法」等について説明します。各団体の代表者はご出席下さい。

北陸の道フォトコンテスト 入賞作品の紹介



優秀賞 「光る街道」

阿部重男さん (矢代田)

これは妻入りの街並みで、雨あがりの日が照り始めた時に10分前後において撮影を致しました。その際に撮影場所は出雲崎町で高い所にあり、北国街道に通じる大道脈であり、人々の生活感がうかがわれる古い街並みであります。漁港の街でもあります。

第二回「秋葉区美術展」で、当地区から次の方々が入賞されました。
〔工芸部門〕
優秀賞 高野 淳 (矢代田)
〔写真部門〕
奨励賞 徳永 繁 (小須戸)

第二号の「文芸あきは」で、当地区から次の方々が入賞されました。
〔川柳〕
優秀賞 能登としお (小須戸)
※美術作品と文芸作品は次号から順次紹介していきます。

第2回「秋葉区美術展」・「文芸あきは」 入賞作品の紹介



展示内容は、もりだくさん

カメラ散歩



「ちよこっと体験コーナー」で押し花の作品づくり



真心の宣伝。チンドン屋がゆく

1年間の成果を発表… 小須戸地区市民展アレコレ



「ホツ」と一息。ハーブ紅茶

習字側、教える側も大満足

今年度も小須戸地区市民展の期間中「ちよこっと体験コーナー」を開催しました。体験内容によって受講者の顔ぶれは変わりましたが、どのコーナーも子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の方が、楽しそうに参加していました。

正月飾りにつかう切り絵「八丁紙」の指導をされた佐藤ハルエさん(矢代田)は「作品の展示は何回もしてきましたが、教える立場になったのは初めてです。だんだん体験する方が増えてきて、指導のしがいがありました。本当にいい経験になりました」と、満足そうに話されました。

「きままにハーブ教室」のメニューより

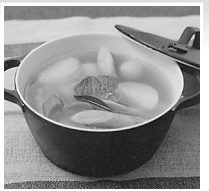


八丁紙の見本例

好評

ポトフ

- 材料(5人前)
- 牛肉 ももかたまり…500g (日常的には鶏肉や豚肉でも可)
 - 人参…2本
 - 大根…1本
 - 玉葱…2個
 - ジャガイモ…3個
 - ブーケガルニ 注1
 - パセリの茎・タイム少々 これら(ハーブ)をローリエ1枚とタコ糸でしばる
 - 手羽元…2ヶ



完成写真

- 作り方
1. 鍋に3ℓの水を入れ、肉をよく洗いいれ、強火で煮る。手羽元と一緒に煮込む。灰汁が出てきたら丁寧にとり、スープを澄ませる。
 2. ブーケガルニを加え、30～40分弱火で煮込む。
 3. 野菜を乱切りにし、鍋に入れ煮込み、最後に塩・コショウで味を調える。～スープが澄んだ色になれば成功です。

《こんな食べ方も!!》
食事の際は、そのままからしを添えて、また牛乳かお醤油をかけて食べても美味しい

クリスマスコンサートはいかが?

女性コーラスグループが主催して、コンサートを開きます。女性合唱・女性ヴォーカル・絵本の朗読等をきいて、そしてグループと一緒にうたってみませんか。

忙しい師走の午後の一時を、コーラス等をききながら、ゆったりとおくつろぎください。

- とき 12月20日(土) 午後1時開場 1時半開演
ところ 小須戸地区公民館〔3階・ホール〕
内容 女性合唱・女性ヴォーカル・絵本の朗読・皆でうたおう
演奏曲目 お祭マンボ・うれしいクリスマス・Love Love Love 他
出演団体 コールあじさい・コーラ斯拉ベンダー
「ア・カペラ ヴォカリーズ」・おはなしポケット(荏原さん)
入場料 無料
問合せ コールあじさい 代表 五十田 ☎0250-38-3496



前回、荻川で行われた様子

今年、子どもたちも「今、子どもたち」(146)シリーズ「今、子どもたち」(146)を定年退職後、ウォーキングをやっていたので、そのついでに歩きながら、地域との関わりになればと思つて、セーフティスタッフの一員に加えていただいた。始めた当時、一年生だったお子さんも、早いもので五年生となった。子ども達と歩いていると、新鮮な感覚で道端の小さな虫に関心を寄せたり、クイズをしたり、学校での出来事や、借りて来た図書のこと等、いろいろな話題や発見を伝えてくれる。所用と一緒に歩けなかつた翌日には「きのうは来なかつたね。どうしたの」と聞いてくれる。今、地域で子どもの声が聞



元気いっぱい、矢代田の小学生

こえなくなつたと耳にするのが、私の身の回りでは、家族とキャッチボールをしたり、友達とかくれんぼをして遊ぶ、健康的で快活な姿が見られ、私にも、生きていく日々、活力を与えてくれる。城丸玲子(天ヶ沢1)

「今、子どもたち」(146)

シリーズ

活力を与えてくれる子どもたち

セーフティ・スタッフ

川柳 (題:感謝) 曾孫増え八十路を生きて感謝する 里帰り母へ感謝の肩を揉み	柳 授かった赤子の笑みに沸く我が家 平凡でいいの夫へ感謝状 平山あきら	短歌 飛び翔ちて頭上かすめる青鷲の翼は作れる影の大きさ 坂井隆思	歌 腰をあげ自転車こぎゆく少女等の吾を追いこすしなやかな足 大森美恵子	俳句 倒伏の稲起きあがるコンバイン 徳のびつつ寛一様の紅葉濃し 五十嵐香月	句 身に沁むや百寿の命こはれゆく 園行事明日新蕎麦を打つと言ふ 秋の雲京都参りし無事終る 夕間に何の饒舌鳥渡る 泡立草盛りひろがる刈田道 二胡の音の満つるお座敷良夜かな 車椅子の子手にゆだね夏落葉 倒伏の稲起きあがるコンバイン 風間幸子	馬場綾子 須藤恵美子 東樹ちよ 関根紀男 井本マツ子 井本マツ子 風間幸子 間野良遊 中野太浪
---	--	--	---	--	---	---

文芸欄

お知らせ

次号の公民館報では、2年連続で花壇賞に輝いた坂井隆思さん(新保)の受賞インタビューを掲載します。

注1 ※ブーケガルニ
料理に使う芳葉味草を束ねたもの
セロリ・丁字・月桂樹の葉などを袋に入れたり、くるんだりして用いる